



charnwood 英国・チャーンウッド社製薪ストーブ

**C-Six** (C-シックス HI-CSIX.SSMF-MB)

**C-Seven** (C-セブン HI-CSEVEN.SSMF-MB)

## 取扱説明書



C-Six

C-Seven



世界の名品に信頼を添えて



---

このたびは、英国チャーンウッド社製C-シリーズストーブをお買い上げくださいまして、ありがとうございました。

このストーブは英国の多くの家庭で定番品として愛されている薪式ストーブです。

ヨーロッパの安全規格である、CEマークを取得している他、英国の1993年大気浄化法および排煙規制もクリアーしています。

ご使用する前に、本説明書をお読みいただき、正しくお使いいただき、安全で快適な暮らしにお役立てください。

また、この取り扱い説明書は保証書を兼ねていますので、大切に保管してください。

---

# 目次

---

安全上の注意 .....	2
1 付属品 .....	4
2 仕様 .....	4
3 各部の名称 .....	4
4 燃料について .....	4
5 エアークントロールレバーの使い方 .....	4
6 ストープを使う .....	5
7 燃料の補給 .....	6
8 灰の処理 .....	6
9 メンテナンス .....	7
10 定期点検 .....	7
11 煙道火災が起きたら .....	8
12 トラブルシューティング .....	9
保証規定、保証書 .....	10

# 安全上の注意

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。  
この章に記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 警告表示について



### 警告

人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。



### 注意

人が怪我または製品に損害を与える恐れがあります。

## 警告



### 警告

ストーブをご使用になる前に、設置業者により、設置説明書に記載の作業と点検事項が正しく行われていたことと、煙突が清掃され、正常な状態であることを確認して下さい。



### 警告

ストーブに火が付いている時には、ストーブやその周辺でスプレーを使用しないでください。スプレー缶の爆発や引火の危険があります。



### 警告

幼児、老人、病人などが存在する環境でストーブを使用する場合は、ストーブとの接触事故を防ぐために専用ケージを使用してください。



### 警告

塩水や海水に浸かった流木や、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、紙類、生ゴミは絶対に燃やさないでください。有機物質の発生、及び、本体や煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。



### 警告

ストーブ本体の上や周辺、及び煙突の周囲には、引火性のあるガソリン、灯油、揮発性のある液体や、スプレー缶などの高圧容器等を置かないでください。火災や有害物質の発生の原因となります。



### 警告

修理技術者以外の方は、本体や煙突の分解・修理を行わないでください。故障と思われる時は販売店にご相談下さい。



### 警告

ご就寝やお出かけの際には、ストーブの全てのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、周囲に燃えやすいものが無いことをご確認ください。



### 警告

薪の入れ過ぎに注意してください。燃焼され過ぎた状態が続くと、本体や煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので、燃焼空気の調整をしてください。



### 警告

本体及び煙突の設置は、建築基準法、及び消防法、お住まいの地域の火災予防条例に従ってください。また、火災報知器、煙感知器、消火器等が設置されていることをご確認ください。



### 警告

ストーブは室内の空気を燃焼し、その空気は煙突より排出されます。従って、室内には常に空気の流入が必要です。そのため、特に高气密住宅では必ず換気口を設けてください。また、室外に空気を強制的に排出する換気扇の使用は止めてください。室内に空気が供給されないと、酸素不足による一酸化炭素が発生する危険があります。



### 警告

灰の処理は、火の気が完全に鎮火したことを確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物の無い場所に保管してください。72時間以上経過してから、冷えていることを確かめて処理してください。可燃性のある物の上や場所に保管しますと、熱が伝わり火災の原因となります。



### 警告

万が一、煙道内火災が発生した場合には、速やかにストーブの各ドア及び空気調整レバーを閉じ、後に必ず専門業者に点検を依頼してください。



### 警告

灰受けドアを開けたまま使用しないでください。空気が調節できずに過燃焼となり、本体の破損や火災の原因となります。



警告

大きな地震や落雷があった場合、破損や変形を生じている可能性があります。ご使用前に本体や煙突の点検を必ず行ってください。異常が見つかった場合は、ご使用にならずお買い求めの店までご相談ください。



注意

お子様をストーブに近づけないでください。火傷や怪我の危険があります。あらかじめ、薪ストーブ用ケージを設けることをお勧めします。



注意

本体、煙突に強い衝撃を与えないでください。

## 注意



注意

ストーブの使用方法については、この取扱説明書をお読みください。



注意

ご使用中は本体や煙突が非常に高温になりますので、火傷には十分ご注意ください。ドアの開閉や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、ストーブ用グローブをご使用ください。



注意

焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。本体と煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙とともに臭いが発生します。



注意

ご使用中、万が一火傷を負った場合は、応急処置として、すぐに患部を流水にて15分以上冷やしてください。なお、その際強い水圧は当てないでください。



注意

ご使用中にストーブの各ドアを開けたまま本体のそばから離れないでください。火の粉が飛ぶ恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性がありますので、必ず扉が閉まっていることを確認してください。



注意

灰の処理は、ストーブ本体が冷えている状態で行ってください。火傷の原因となります。



注意

定期的に本体や煙突のメンテナンスを行ってください。使用しているうちにススがたまり、それが多くなると、引火して煙道内火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。

## 1 付属品

① 火床ハンドル



② 灰受け皿用具

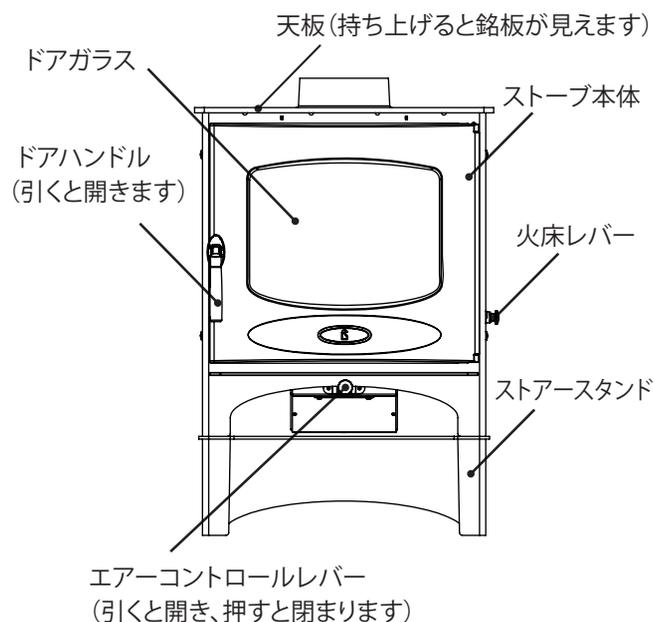


③ 取扱説明書、保証書（本書） ④ 設置説明書

## 2 仕様

	C-SIX	C-SEVEN
最高出力 (kW)	7	8
暖房方式	輻射式	輻射式
暖房の目安 (坪)	15~20	15~20
薪長さ (cm)	26	38
熱効率 (%)	81.9	76.9
排気温度 (°C)	272	280
煙突径 (mm)	125	125
寸法 (mm)	441(W)×292(D)×800(H)	564(W)×292(D)×800(H)
重量 (kg)	96	124

## 3 各部の名称



## 4 燃料について

燃料は、伐採し割った後に、乾燥した風通しの良い場所で1年以上、できれば2年乾燥させた広葉樹材(ナラ、クヌギ、カシなど)の薪を使用してください。

使用する薪の適切な寸法は

- ・Cシックス: 長さ255mm x 直径75mm
- ・Cセブン: 長さ380mm x 直径75mm

です。

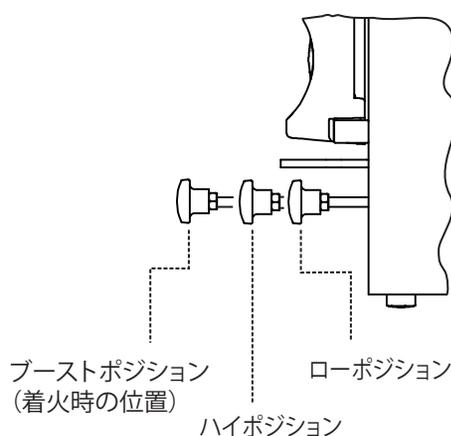
湿気が多い薪を燃やすとストーブ本体、ガラス部、煙突内部に多量のタールが付着し、また熱量も大幅に低くなりますので、十分に乾燥した薪だけを使用してください。

コークス、家庭ごみを燃やすことは使用できません。これらを使用すると保証が無効になります。

新聞紙は着火の時にのみお使いください。

他の燃料に関しては、(株)アドヴァン、または販売店にお問い合わせください。

## 5 エアークントロールレバーの使い方



\*通常使用時はハイポジションとローポジションの間で火力を調節してください

エアークントロールレバー位置

## 6 ストープを使う

### 1 着火前の確認事項

最初に着火する前に、下記の点をご確認ください。

- ◆ 壁面からの距離は正しく設置されていますか？(設置説明書参照)
- ◆ ストープは水平に設置されていますか？
- ◆ 煙突に正しく接続されていますか？
- ◆ 床上1メートル以内に紙などの可燃物は置かれていませんか？
- ◆ バッフルプレートがストープの上板に取付けられていますか？
- ◆ ドアはきっちりと閉まりますか？



#### 注意

初めての着火の際は、燃焼室に塗布されたシリコンペイントが熱に反応して、煙と匂いがストープから発生します。これは正常な反応であり短時間で解消しますが、部屋の換気は十分に行ってください。最初は、大きな薪は使用せずに、煙突内に残っている湿気を乾燥させるために2時間ほどゆっくりと燃焼させてください。

### 2 着火の方法

(1) エアークントロールレバーを最大に引きます (P4参照)



(2) 乾燥した薪を2本程度入れ、その上に丸めた新聞紙等を置き、さらに焚き付け用の薪を燃焼室に入れます



(3) ライター等で火をつけます



着火をスムーズに行うためにドアは数分間ほんの少し開けておきます。焚き付け用の薪に十分に火がまわったら小さな薪を追加し、ドアを閉めますが、エアークントロールレバーは最大開のままにしておきます。

これらの薪の周りに炎が立ったらストープに必要な量の薪を供給します。この段階では、エアークントロールレバーは“最大”にしてください。

ストープが規定の温度に達すると、エアウォッシュシステムが働きます。

着火の時には、必ず誰かがストープのそばにいるようにしてください。煙が多量に発生しますので上記の指示を除いては、ドアは、開けたままにしないでください。

### 3 火力の調整

火力、つまり燃焼の強さは、エアークントロールレバーで調整します。

着火する時や素早い燃焼が必要なときは、エアークントロールレバーを全開にします。しかし、全開のままにしておくとう強すぎる火力や大量の煙の発生の原因になり、また熱が煙道に逃げ暖房機能が低下しますので、長時間全開にはしないでください。発熱量を大きくするには、エアークントロールレバーをカチッという音がする位置まで引きだし、小さくするには全閉の位置まで押し込みます。



燃焼が正常に行われれば、エアークントロールは十分なエアークウォッシュを供給し、ガラスが透明になります。しかし、エアークントロールレバーを全閉にした場合は、常にガラスを透明に保つことはできません。

大きめの薪をくべて30分ほど燃やし続けた後にエアークントロールレバーを閉めます。

正しい燃焼の為にストーブ温度計の使用をおすすめします。

### 7 燃料の補給

燃焼室には十分な燃料の補給が必要ですが、転び止めからこぼれるまで燃料を入れないようにしてください。

薪は、均一に配分し、最も好ましい炎のパターンになるように火床に置きます。

燃料の補充後、エアークントロールレバーは、炎が十分に立つまでは全開にします。

途中で炎が消えそうになったら、炎が再び立ち上がるまでドアを少しだけ開けたままにします。

薪を補充する前に炎が消えてしまった場合は、焚き付け用の薪を足して、大きな薪を補充する前にエアークントロールレバーを全開にし、ドアを少しだけ開けたままにします（適切な薪のサイズについては燃料の項を参照）。以上の方法で多量の煙の発生を防ぐことができます。

薪を燃やす際には、薪の転び止めからはみ出しや、ドアを閉める際にガラスを損傷するような置き方をしないようにご注意ください。薪のはみ出しは、ガラス部の汚れの原因にもなります。薪の入れ過ぎは、大量の煙の発生の原因となりますので転び止めを越えないようにしてください。

液体燃料は、本製品にはご使用できません。

### 8 灰の処理

灰受け皿は、一杯にならないように定期的に灰を取り除いてください。たまった灰が火床の底部に接触すると火床バーを著しく損傷させることがありますので、灰受け皿に灰をためすぎないようにご注意ください。

灰受け皿は、同梱のハンドルを使用して操作してください。

灰が十分冷えていることを必ず確認してから金属製のフタ付き容器に移してください。

ストーブを再着火する際に、床上の灰は、たまりすぎている場合を除いて、そのままにしておきます。



## 9 メンテナンス

### 1 清掃

ストーブは、通常の使用での温度に耐えられる高耐熱の塗料仕上げになっています。

この塗料は、ストーブが冷えている時に、湿らせた柔らかい布で清掃できます。再塗装が必要になった場合は、(株)アドヴァンで専用塗料(品番:HI008TW57MB)を販売しております。

### 2 ガラスの清掃

ガラス表面の付着物は、数分間高速で火を焚けば焼失させることができます。ガラスを清掃する場合、ドアを開けて冷却した後、湿った布で清掃し、その後、乾いた布でガラスを拭ってください。

ガラス上の頑固な付着物は、ストーブガラスクリーナーやセラミックコンロクリーナーで除去することができます。研磨剤やパッドはガラスの表面を傷つけることでガラスの強度を弱め、また破損の原因となりますので、使用しないでください。

### 3 長期間使用しない場合

長期間火を使わない場合(例えば夏季)は、錆の原因となる結露を防ぐために、エアークントロールレバーは全開にして、ドアを少し開けておきます。煙突を清掃し、燃烧室の灰も空にしておくこともおすすめします。

長時間火を使わなかった場合は、着火前に煙突とストーブの煙道を清掃する必要があります。

### 4 ドアシールの確認

燃烧を適切に管理するには、ドアシールの状態が良好である必要があります。ドアシールの摩耗と擦り切れを確認し、必要ならば交換してください。

## 10 定期点検

良好な状態でご使用いただくために、年一回の定期点検をお奨めいたします。

火室全体を清掃した後、全ての内部部品が良好に作動するか確認し、摩耗の徴候を示しはじめた部品はすべて交換してください。ドアシールが良好な状態であり、ドアが正しく閉まるか確認して下さい。

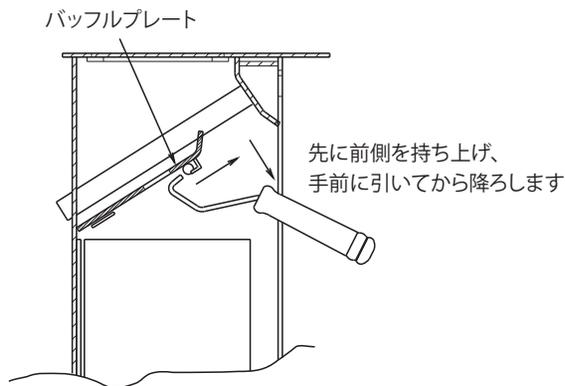
修理はアドヴァン社、または販売店のみが行います。チャーンウッド社純正の交換部品をご使用ください。

### 1 バッフルプレートと煙道の清掃

煙の発生を防ぐために、バッフルプレートとストーブの全ての煙道を清潔に保つことが非常に重要です。これらの部分は、少なくとも1年に一回清掃する必要があります。火を消してから清掃作業を行ってください。

バッフルプレートを外すには、下図のようにバッフルプレートの手前を持ち上げ、その後下に降ろします。付着したススの除去は、プレートから始めて、火室の内部へと進めます。バッフルプレートを正しい位置に戻し、プレートの前面を持ち上げてから内部側面カバーの上に降ろします。

図 バッフルプレートとその下げ方



## 2 煙突の清掃

ストーブは、少なくとも年に1回清掃する必要があります。上部排気口もしくは垂直の後方煙道コネクタが使用されている箇所は、一般的には、ストーブの後方上抜用口元から口元ブラシを入れて行います。

まず、転び止めとバッフルプレートを取り外します。そして清掃後、全ての横引き部分にススが残っていないかを確認します。

設置条件によりストーブ全体を清掃することが不可能な場合は、スス取り口などの代替手段を設置することが必要です。煙突の清掃の後に、ストーブと煙突を接続しているストーブの口元部分も必要です。煙突ブラシで清掃してください。

ストーブ内の全てのススを清掃したら、バッフルプレートと転び止めを戻します。

## 3 排煙の不良



**警告**

正しく排煙を行うには、適切な取付けと運転が必要です。薪の補充を行うと一時的に煙が発生します。煙が常に出るのは危険な徴候なので、見過ごさないでください。排煙不良が続いたら、ただちに以下の緊急対策を行ってください。

- a) ドアや窓を開けてください。
- b) 煙道や煙突が詰まっていないか確認し、必要なら清掃します。
- c) 煙の原因が判明するまで火を点けないようにして、必要であれば専門家の意見を聞いてください。

## 11 煙道火災が起きたら

煙突全体を定期的に清掃すれば煙道火災は発生しません。煙道火災が発生したら、エアーコントロールレバーを閉じ、ストーブのドアをしっかりと閉じます。ストーブが完全に消えるまでこの状態を維持すれば、煙突火災はおさまるはずですが、火災がおさまったら煙突と煙道を清掃します。



**警告**

上記の対策を講じても煙道火災がおさまらない場合は、速やかに消防署に通報してください。煙道火災の後は、煙突に損傷がないか入念に確認します。必要があれば専門家に相談してください。

## 12 トラブルシューティング

症状	原因	対策
薪が燃えない。	<p>湿った薪を使っている。</p> <p>太い薪を使用している。</p> <p>給気の量が足りない。</p> <p>煙突がススでつまっている。</p>	<p>薪は一年以上乾燥させたものを使って下さい。</p> <p>最初は細い薪を燃やし、徐々に太い薪を燃やして下さい。</p> <p>エアークントロールレバーを引いてください。</p> <p>煙突掃除を行って下さい。</p>
室内に煙が戻る。	<p>換気扇が回っている。</p> <p>煙突の曲がりや横引きが多い。</p> <p>煙突の長さが足りない</p> <p>煙突がススでつまっている。</p> <p>煙突トップが詰まっている。</p>	<p>換気扇を止めて下さい。</p> <p>煙突の曲がりをなくして下さい。 (施工をやり直す必要がある場合があります。)</p> <p>煙突を追加する必要があります。</p> <p>煙突掃除を行って下さい。</p> <p>清掃を行って下さい。</p>
薪の燃焼が早すぎる。	<p>給気の量が多すぎる。</p> <p>細い薪を多く利用している。</p> <p>針葉樹を燃やしている。</p> <p>扉がしっかり閉まっていない。</p>	<p>エアークントロールレバーを押し込んでください。</p> <p>太い薪も使用して下さい。</p> <p>針葉樹は燃え尽きるのが早いので広葉樹の薪をお使いください。</p> <p>扉をしっかり閉めて下さい。</p>
ドアガラスが汚れる。	<p>湿った薪を燃やしている。</p> <p>給気を絞るタイミングが早すぎる。</p> <p>扉がしっかり閉まっていない。</p> <p>ドアシールとエアークウオッシュスライドが消耗している。</p>	<p>よく乾燥した薪をお使いください。</p> <p>低温度域で燃焼を弱めると、不完全燃焼になり、ススやヤニが発生しやすくなります。炎が薪全体に回ってから火力を調整して下さい。しかし弱く長時間燃やすとガラスの汚れは避けられません。</p> <p>扉をしっかり閉めて下さい。</p> <p>ドアシールとエアークウオッシュスライドを交換して下さい。</p>



## 保証規定、及び保証書

\*この保証書は本書に明示した保証規定のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

\*この保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

### ● 保証規定

1. 正常な使用状況で保証期間内に故障した場合は無償にて修理いたします。但し、出張修理の場合、交通費実費を申し受けます。
2. ご転居の場合は事前にお取扱い店にご相談ください。
3. 贈答品などで、本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼できない場合には(株)アドヴァンお客様相談窓口にご相談ください。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負いかねます。
5. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 1) 保証書の提示がない場合、及び期限切れの場合
  - 2) 保証書に所定の事項の記入がない場合、字句が書き換えられた場合。
  - 3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変、公害や塩害による故障、および損傷。
  - 4) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障、および損傷。
  - 5) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、および使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
  - 6) 本体外装部以外の消耗品(ガラス、ガスケット、パッフルプレート、火床、灰受け、耐火レンガ、ヒンジ等)が自然劣化・消耗した

場合。

- 7) 指定以外の燃料を使用した場合。
- 8) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下による故障、および損傷。
- 9) 取り扱い説明書に記載されている注意に反するお取り扱いによって発生した故障、および損傷。
- 10) 煙突部分。
- 11) 下地の強度不足、建築躯体の変形等の不具合に起因する故障、および損傷。
- 12) 工事の不具合により発生した故障、および損傷。

### ● 修理のご依頼について

1. 部品交換や修理については販売店へご相談ください。
2. 修理期間は製品・部品によっては時間がかかる場合がございますのでご了承ください。
3. 修理期間中の製品の貸出しは一切行っていません。



株式会社アドヴァン お客様相談窓口  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-32-14  
TEL. 03-3475-0291 FAX. 03-3475-0308

## 保証書

製品名	C-6 (HI-CSIX.SSMF-MB) C-7 (HI-CSEVEN.SSMF-MB)	いずれかを○で囲んで ください	シリアルNo.
保証期間	(納入日)	年 月 日より	1 年
お客様名			
ご住所	〒 -	お電話番号	
設置場所	〒 -	お電話番号	
取り扱い支店(販売店)名			

\*この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

